

## 術後の疼痛管理計画書

手術後にあなたの体に生じる痛みに対して、次のような疼痛対策を行います。

### 手術の当日

- 手術が終わる頃に、麻酔科医が鎮痛剤を投与、術者が傷口に注射します。
- 病棟に移動後 6 時間～8 時間ごとに、点滴で鎮痛剤を投与します。
- （ 硬膜外麻酔 ・ 神経ブロック ）を開始します。
- 静脈内に医療用麻薬を持続注射します。

### 手術の翌日

- 6 時間～8 時間ごとに、点滴で鎮痛剤を投与します。
- 鎮痛剤を内服します。
- 硬膜外麻酔が継続されます。
- 静脈内の医療用麻薬投与が継続されます。

### 翌々日以降

病状に応じた疼痛管理が継続されます

### 術後の疼痛管理計画における注意事項

治療経過によって、上記の疼痛管理計画は変更される可能性があります。  
安静にしても痛い場合には、遠慮せず、担当看護師にお伝え下さい。  
当院には、**術後疼痛管理チーム**があり火、水、木、金の朝に回診しております。

説明責任医師名

谷口英喜 鎌田高彰